

4月の清掃作業中、脚に糸が絡まっている鳥を保護しました。



何重にも両脚に絡みついています。



一つ一つ、時間をかけて糸をほどきました。
脚に残った痕が痛々しいです。



この後、鳥は元気に海に帰っていきました。

清掃作業中にはウミガメやイルカに遭遇することもあります。
誤って海に浮いているビニール片を飲み込んでしまい、酸欠状態になっている魚を見つけることもあります。
ビニールを取ってあげると元気になって泳ぎだす魚もいます。

横浜港にはいろいろな生物が生きています。
港をきれいにすることは、多くの生物を守ることに繋がっています。

これからもきれいな港のために、日々の活動を行ってまいります。